

# 2022 U13・U14・U15 ユース育成センター実施要項



主 催 (一財)沖縄県バスケットボール協会

主 管 (一財)沖縄県バスケットボール協会  
ユース育成委員会  
(一財)沖縄県バスケットボール協会  
U15 カテゴリー部会

期 日 ○月 ○日 ( ) ○時～

会 場 県内市町村体育館・県内各中学校体育館

2022年度 沖縄県バスケットボール協会ユース育成センター（U13～U15）実施要項

1. 目的

JBAが目指す世界に通用するバスケットボール環境構築のために「世界基準を日常に取り入れる」「世界を目指す環境」「一気通貫」という強化・育成方針を示している。これに基づき、沖縄県でも将来日本代表となる優秀な素質を持つ選手や可能性の高い選手に定期的に良い育成環境（練習環境・指導環境）を提供し、個を大きく育てる。合わせて指導者の研鑽の場として指導者養成を目的とする。

2. 名称

沖縄県バスケットボール協会ユース育成センター（U13～U15）

3. 主催

一般財団法人 沖縄県バスケットボール協会

4. 主管

（一財）沖縄県バスケットボール協会ユース育成委員会

（一財）沖縄県バスケットボール協会U15カテゴリー部会

5. 組織図（昨年度）

統括（チーフマネージャー）		佐藤 忍	安慶田中学校				
		男子			女子		
県カテゴリー別 コーチ	U15	仲吉 孝之	具志川中学校	U15	佐藤 忍	宮里中学校	
	U15		中学校	U15	洲鎌 龍児	那覇中学校	
	U14	上原 達也	興南中学校	U14	山内美乃里	鏡原中学校	
事務局		洲鎌 龍児	那覇中学校				
育成コーチ	役割	男子			役割	女子	
国頭	HC	宮里 聡仁	国頭中学校	HC	神山 康大	羽地中学校	
	AC	島袋 孝	羽地中学校	AC	宮里 一樹	本部中学校	
	M			M			
中頭	HC	金城 昌嗣	美東中学校	HC	仲松 俊郎	真志喜中学校	
	AC	嘉陽 宗	宮里中学校	AC	嶺井 直樹	与勝緑が丘中学校	
	M			M			
那覇	HC	伊佐 満	浦添中学校	HC	銘苅 瑛子	浦西中学校	
	AC	宮城 緩人	小禄中学校	AC	川上真紀子	首里中学校	
	M			M			
島尻	HC	牧門 達哉	与那原中学校	HC	上原奈保子	西崎中学校	
	AC	仲村 兼太	豊見城中学校	AC	浅野 公平	南星中学校	
	M			M			
宮古	HC	小谷 匡輝	上野中学校	HC	武富 星哉	城東中学校	
	AC	小禄 真也	下地中学校	AC	川上奈留美	鏡原中学校	
	M			M			
八重山	HC	伊波 貴史	石垣中学校	HC	当山 哲郎	船浦中学校	
	AC	池城 博史	大浜中学校	AC	系数 靖	石垣第二中学校	
	M			M			
クラブ	HC	與那嶺 響	琉球 U15	HC	玉城 弘幸	うるまサンフラワーズ	
	AC	田港 朝史	23Academy	AC	平良監司郎	Swish	

## 6. スタッフ役割について

スタッフ	役割内容
全体総括 チーフマネージャー	育成センターに関するマネジメント、指導内容、指導者の統制等 全てを統括する。
カテゴリー別コーチ	①全体総括・指導責任者と連携を取りながら、カテゴリー内の活動を 掌握する。 ②カテゴリー間の連携を強化し、選手の情報共有を行う。
事務局	事務業務（会場、連絡、書類、費用など）、D-fund、協会との調整
HC（ヘッドコーチ）	練習プログラムの作成、指導
AC（アシスタントコーチ）	練習プログラムの作成、指導、HCの補佐
MG（マネージャー）	指導、HCの補佐、事務業務（会場、連絡、書類、費用など）

\*スタッフについては県協会ユース育成委員会から打診、任命する。

\*県DCのHCについてはJBAコーチングライセンスC級以上の有資格者が望ましい。

\*全ての指導者は、JBA・沖縄県協会ユース育成委員会のユース育成事業の趣旨を理解し、カテゴリー別マネージャーと協力して育成センターの活動の充実を図る。

\*任期2～3年

\*若手指導者の育成

## 7. 参加資格及び選考基準

### (1) 参加資格

- ① U15
  - ・昨年度のU14 沖縄県ユース育成選手。
  - ・各地区大会や県大会・リーグ戦等の活躍により、各カテゴリーマネージャーやコーチの推薦を受け、ユース育成委員会で承認を得た場合、追加招集も有りうる。
  - ・クラブ・ユースチーム在籍者は、所属クラブの責任者の推薦を得て、県ユース育成委員会が提示する選考基準に該当する者。
- U14
  - ・各地区から推薦され、県ユースジュニアセレクションの選考会で選考された者。クラブ及びユースチームの選手も同様に扱う。(30名程度)(20名程度)
  - ・各地区大会や県大会・リーグ戦等の活躍により、各カテゴリーマネージャーやコーチの推薦を受け、ユース育成委員会で承認を得た場合、追加招集も有りうる。
- U13
  - ・ミニ連からの推薦を受けた者。(3～5名 U12九州育成センター参加者が望ましい)
  - ・各地区から推薦され、県ユースジュニアセレクションの選考会で選考された者。クラブ及びユースチームの選手も同様に扱う。

\*今年度は、コロナの状況により沖縄県ユース育成選手の人数の変動があります。(密を避けるため)

- \* 各カテゴリーとも、沖縄県内の中学校に在籍することを原則とする。
- \* 各カテゴリーとも、TeamJBAの登録選手であること。
- \* 各中学校の学校生活において、学習態度及び生活態度が良好であること。
- \* 優秀な選手である場合、上のカテゴリーで活動することを妨げない。(飛び級は可とする。)
- \* 今年度はコロナ感染対策を徹底して各地区交流大会を行う予定です。各地区及びクラブチーム責任者の推薦を受けた選手は、感染ガイドラインを熟読して参加するよう宜しくお願いいたします。

## (2) 選考基準

選考基準においては、JBA 技術委員会ユース育成部会が示している「ユース育成選手評価基準」の内容を指針とする。

- ①明確に参加の意志があり、個人の技術向上への努力を惜しまないもの。
- ②将来性を見据えて、技術・得点力・運動能力・体格・精神面などの資質に優れているもの。
- ③現在の身長だけに左右されず、親の身長やウイングスパン等から最終予測身長が高いと思われるもの。
- ④現在の身長が高い。 男子・・・180cm以上 女子・・・170cm以上
- ⑤身長の基準に合っていないくても、他者と比べて著しく優れた部分がある。  
(ボールハンドリングスキル・スピード・ジャンプ力・1on1・リバウンド力など)

\* マルフアン症候群の選手は育成センター事業に参加できない。(問診票を確認)

\* チームの勝ち上がりに左右されず、個人の能力・可能性を第一の選考基準とする。

\* ④の身長の高い選手においては、現時点での能力や技術は問わず、各地区から必ず出してもらう。

## 8. 活動計画

回	U15			U13・U14		
	期日	内容	練習場所	期日	内容	練習場所
1	6/19 9:00~ 12:00	第1回ユース育成センター	具志川 中学校	11/26	県U14 ジュニアセレクション	島尻 or 中頭
2	7/17	第2回ユース育成センター	未定	11/27	県U14 ジュニアセレクション	島尻 or 中頭
3	8/21	第3回ユース育成センター	未定	1/14	第1回ユース育成センター 開校式	未定
4	9/18	第4回ユース育成センター	未定	1/15	第2回ユース育成センター (U15 と合同練習)	未定
5	10/16	第5回ユース育成センター	未定	2/12	第3回ユース育成センター	未定
6	12/18	第6回ユース育成センター	未定	2/19	第4回ユース育成センター (U15 と合同練習)	未定
7	1/15	第7回ユース育成センター	未定	3/5	第5回ユース育成センター	未定
8	2/19	第8回ユース育成センター	未定	3/12	第6回ユース育成センター	未定
9	3/19	第9回ユース育成センター 閉校式	未定	3/19	第7回ユース育成センター (U15 と合同練習) 閉校式 (閉校式後、九州ブロック交 流大会の説明会) 保護者参加 * 旅費を説明会終了後徴収 します。	未定
				3/	九州ブロック交流大会	

## 9. 選手の参加

- (1) 選手は育成センター活動（DC）を優先する。
- (2) 全国大会やそれに準ずる公式戦等と日程が重複した場合は、チームの活動を優先できる。
- (3) 学校行事による欠席は認める（必ず事前にスタッフに連絡する）。
- (4) 1回の練習会につき、参加料¥1,000を徴収する。（受益者負担の原則）
- (5) 保険においては、育成センターで一括して加入する。（保険代受益者負担）。
- (6) ボールや飲み物は各自持参。
- (7) 無断欠席や意欲が低い選手はDCへの参加資格を取り消されることがある。
- (8) JBAに登録していない選手、マルファン症候群の選手は、本事業に参加できません。
- (9) 外国籍選手の参加については、将来的な帰化の可能性を考慮し、JBA選手登録を前提に参加を認める。

## 10. 指導内容

- (1) JBA技術委員会により提示されたJBA育成方針に基づいた内容。
- (2) 勝つためのチーム作りではなく、個の育成を主眼とする。
- (3) コーチ研修会の実施（指導者対象の研修会を各カテゴリー合同で実施）。

### 11. 経費と処理（事務局の実務）

- (1) 予算
  - ①収入・・・参加料（毎回、選手から¥1,000を徴収）、Dファンド、スポンサー収入 etc.
  - ②支出・・・施設使用料、事務経費、スタッフ旅費（日当、会議費、交通費）、保険料
- (2) 「実績報告書」「会計報告書」の作成・提出
  - ①毎回、参加スタッフ・選手、活動内容を記した報告書を作成し、カテゴリー総括に提出
  - ②会計報告と協会通帳への参加料振込み

### 12. 個人情報の取り扱い

- ①育成センターにより得た個人情報は、個人情報保護法に基づき適正に管理すること。
- ②個人情報は、沖縄県育成センター事業及びJBA強化育成事業に利用することがある。
- ③撮影する場合は、指導内容共有、個人での利用とし、参加者に肖像権の承諾を確認すること。
- ④参加同意書にて、12①②③を確認し、提出いただくこととする。